

## <基本目標>

### 日本一広大な東北海道の拠点都市としてのまちづくり

新市は、東北海道の拠点都市として、情報基盤の整備を進めるなど、都市拠点機能の向上を図る必要があります。また、地域産業の力を高めるためにも、港湾と空港、広域幹線道路網が結び合った広域ネットワークを整備することなどにより物流をはじめとする広域交流拠点としての機能を充実する必要があります。これらの機能を活かして世界に開かれた活力あふれる拠点都市を目指します。

### 地域の価値を引き出し、活力ある産業を拓くまちづくり

新市は、恵まれた自然環境を活かし、第1次産業を主体として発展してきた地域であり、日本の食糧基地といえる地域です。地域が一体化することにより、安全・安心で良質な食糧の供給体制を整え、第1次産業の基盤を強化するとともに、第2次、第3次産業との新たな連携を確立することで雇用の確保を図り、地域経済を活性化させることを目指します。また、地域の資源、技術、人材、研究機関の力を組み合わせ、地域産業の新しい価値を引き出します。

### 世界に誇れる大自然と共生するまちづくり

新市は、2つの国立公園を持つ国内唯一の都市となります。阿寒・釧路湿原国立公園に代表される多彩で豊かな自然環境を将来の世代にも引き継いでいくため、環境都市の実現に向け、自然環境保全や循環型社会の形成を総合的に進めていきます。また、これらを活かした体験型観光など人と自然のふれあいを促進し、自然と共生したまちづくりを目指します。

### 世界ブランド“くしろ”を発信するまちづくり

新市は、タンチョウやマリモ等全国ブランドとして確立された地域の魅力あふれる資源を数多く有しています。総合的、戦略的視点で、世界ブランド“くしろ”を発信するとともに、新たな地域ブランドの開発に努めます。また、このようなブランドの確立により、都市としてのイメージを大きく向上させ、これらの地域資源を活かした観光をはじめとする産業の活性化と国際交流都市としての広がりを目指します。

### 思いやりがあり、安心して暮らせるまちづくり

少子高齢社会の時代にあっては、地域社会とのふれあいの中で、誰もが健康で、こころ豊かに安心して住み続けることのできるまちづくりが必要です。子どもが健やかに育つ環境づくりを進め、地域での保健・医療・福祉の充実を図るとともに、一人ひとりが思いやりを持ち、ひとに優しい安心・安全な暮らしの確保を目指します。

### いきいきとした心豊かな人をはぐくむまちづくり

次代を担う子どもたちが豊かな心を持ち、健やかに育つためには、家庭・学校・地域社会が一体となってさまざまな教育環境づくりを進めていかなければなりません。また、地域の伝統文化を守り育てるとともに、住民の生涯学習を支援するため多様な学習機会の提供を目指します。さらに、国際化社会に対応する人材育成のため、様々な分野における国際交流・協力活動の充実を目指します。

### 住民と行政の協働によるまちづくり

地方分権が進む中、多様化、高度化する住民ニーズに的確に応えていくため、これまで以上に住民とともに考え、行動し、計画の策定や施策の選択等の過程に住民が直接参加できるような取り組みを進めることが必要です。新市のまちづくりは住民が主役です。多くの住民や団体などのまちづくりへの参加促進や活動支援など、知恵を出し合うパートナーシップのまちづくりを目指します。

## <地域の発展方向>

阿寒、鶴居、白糠、音別のかつて大自然林であった山岳部は、森林の育成や保護の取組を行い、林業の振興を図るゾーンとします。

<主な地域>阿寒町、鶴居村、白糠町、音別町

阿寒、鶴居、白糠、音別と河川の流域に広がる酪農地帯は、自然との調和に配慮した酪農などの農業の振興を図るゾーンとします。

<主な地域>阿寒町、鶴居村、白糠町、音別町

